

Reform Story

お客様一人一人が思い描いた**憧れと願い**を、
一つ一つ繊細且つていねいに現実化していく
「**綿半リフォーム**」それぞれの物語。

■家族構成
ご夫婦、お子様2人、祖母

■工事内容
全面リフォーム（LDK、部屋、お風呂、洗面室、トイレ、玄関、バリアフリー）、2F増築、外装、外構、屋根、耐震、オール電化、太陽光発電



Before

夜も明るい玄関前のアプローチ

カウンターから見るリビング



築43年の住宅が新築のように生まれかわる

我が家は築43年の木造住宅。断熱の効果が薄く、寒さがこたえる家でした。さらに地震に強い家になりたいという想いもあり、思い切ってリフォームを決意しました。

リフォームは、建物のほぼ全体に及びました。まず耐震性を確保するため基礎や耐震壁を増やし、重い瓦の乗った屋根は軽いカラー鉄板に。母も同居しているので1階はバリアフリーにし、2階は天井を高くすることで開放的な空間を演出しました。以前、北西の隅にあったDKは狭くて暗い印象の部屋でしたが、南北に貫く広々としたLDKにしたところ風通しもよく、北側に設けた天窗からは明るさも確保できました。

妻に特に好評だったのがクローゼットや納戸を多くしたことですね。格段に収納量がアップし、家の中がすっきりと片付くようになりました。また2階のサンルームでは雨の日でも洗濯物が干せるので重宝しています。

こだわりは、2階の寝室などの梁をわざと見せる工夫をし、古い家の趣を活かしている所です。他にも我が家のアイドルであるネコが爪研ぎをしないように壁には腰板を付けています。

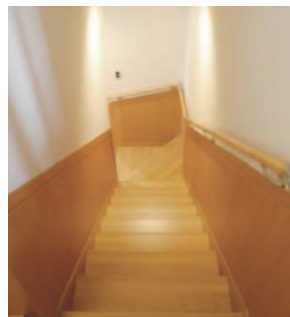
それから家の顔でもある玄関までのアプローチもこだわり、意匠性を考えすっきりと仕上げました。

綿半リフォームさんには多くの注文をお願いしたにもかかわらず、営業・設計・現場管理・施工の各担当の方が親身になって相談に乗ってくださり、快く引き受けてくれたことに本当に感謝しています。

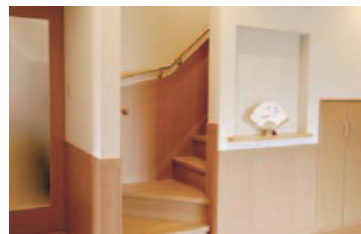
我が家は全体的に明るい印象に生まれ変わり、優しい雰囲気に仕上がりました。災害にも強く、家族にも優しい家になったことに大変満足しています。



雨の日でも洗濯物が干せる広々としたサンルーム。



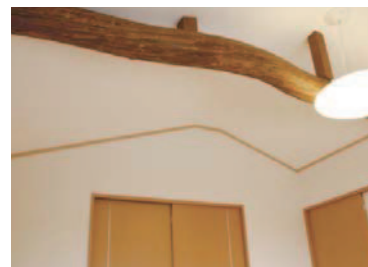
腰板を付けた階段は木のあたたかみを感じられます。



急な階段は段数を増やしゆるやかに。



北側にあるキッチンは、天窗を設け明るく開放的に。将来の薪ストーブスペースも確保。



梁を活かし、開放感のある天井。



照明にもこだわった和室。ここにも腰板が。



瓦屋根は全撤去し、鉄板の屋根に葺き替え。同時に太陽光発電システムも設置しました。